

平成30年度神石高原町立豊松小学校公開授業研究会を10月4日（木）に開催しました。

## 【研究主題】

主体的に学習し，思考を深める子供の育成  
～算数科における伝え合う学習を通して～

公開授業より

【研究内容】 ○主体的な学習の場の工夫 ○協働的な学習の場の工夫

算数



1年  
たしざん(2)

たしざんカードの  
並んだ図を見て  
規則性に気づき、  
説明しました。



4年  
面積

複合図形を比べ、  
形が違っても同じ  
面積になる理由  
を考えました。

5年  
単位量あたりの大きさ

単位量あたりの大きさを用いて、3  
つの量の大小を比べ、一番お得な  
ジュースを選ぶことができました。



5・6年は複式学級です。学習リーダ  
ーを中心に進め、授業の最後のまと  
めでは、1あたりの量を求めること  
で、ものを比べることができること  
を交流し、統合を図りました。



6年 速さ

時速と分速と秒速の単位  
をそろえ、進む距離を出  
すことで速さを比べられ  
ることがわかりました。



たんぽぽ学級  
買えますか？ 買えませんか？

ものの値段をおよそ何百円とみて、買えるか買えないか判断し、  
その理由を説明することができました。

※3年は、授業を公開していません

## 児童発表より



## 豊松一番太鼓 (5・6年)

約1ヶ月間の練習でしたが、心を一つにしてたたく太鼓の音は迫力があり、体育館に響き渡りました。

参加者の方からも、感動したとの意見をいただきました。

## 開会行事より



神石高原町立豊松小学校 校長 住田 葉子



神石高原町教育委員会 教育長 馬屋原 健治 様

## 実践発表より



神石高原町立豊松小学校 研究主任 兼重 智考

## 講評・講演より



広島文教女子大学教職センター長  
人間科学部初等教育科 教授 今崎 浩 様

## 閉会行事より



神石高原町立豊松小学校  
教頭 妹尾 真由美

広島文教女子大学 教授 今崎 浩 先生より「算数科における主体的・対話的で深い学びの実現に向けて」と題して新学習指導要領も視野に入れ、目指すべき深い学びについて具体的にお話をいただきました。授業のねらいの達成・各教科ごとの見方・考え方・教材研究・評価の充実・学習規律など学ぶべき視点が数多くありました。研究会は通過点です。学んだことをこれからの教育活動に生かしていきます。